



2020年4月30日

各 位

会社名 GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 相浦 一成
(コード：3769 東証第一部)
問合せ先 取締役副社長 村松 竜
(TEL. 03-3464-0182)

連結子会社（孫会社）に対する債権放棄及び 同連結子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ

当社は、2020年4月30日開催の取締役会において、当社連結子会社（孫会社）である Macro Kiosk Berhad（以下、「Macro Kiosk 社」という）に対する債権を放棄すること（以下、「本債権放棄」という）及び当社が当社子会社を通じて保有する Macro Kiosk 社の全株式を譲渡すること（以下、「本株式譲渡」という）を決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、本株式譲渡により、Macro Kiosk 社は当社グループの連結範囲から除外されることとなります。

記

1. 債権放棄及び株式譲渡の理由

当社グループは、総合的な決済関連サービスのグローバル展開のため 2016 年 8 月に Macro Kiosk 社を子会社化し、東南アジア展開の中核として事業を推進してまいりました。

Macro Kiosk 社はマレーシア国内で競争力のあるサービスを周辺の新興国を中心に展開し順調に業績伸長していたものの、取り巻く市場環境及び競合動向が変化するなか、子会社化した当初策定した中期計画を達成できない見込みとなり、2018 年 9 月期及び 2019 年 9 月期においてのれん、技術資産、ソフトウェア及び顧客関連資産等について帳簿価額を全額減損いたしました。

その後も Macro Kiosk 社の成長戦略を検討してまいりましたが、シナジー効果の創出にはまだ時間を要する見込みであること、2016 年 8 月時点では想定できなかった事業環境及び収益性の悪化等により、当社グループの経営指標である 25%の営業利益成長を達成できる中期計画の策定は困難でありキャッシュ・フロー改善の見通しも立たないこと、債務超過状態が続いており改善に目途が立たず、さらなる資金注入が必要になる可能性も否定できないこと、さらに 2020 年 1 月末からマレーシアを含む全アジアでも進みつつある新型コロナウイルスの感染拡大と大規模な不況等、当社にとってコントロール困難な不確実性とリスクが増大していること等を総合的に勘案し、当社が当社子会社を通じて保有する Macro Kiosk 社の全株式を同社の創業者であり現経営陣である Goh Chee Ken 氏、Goh Chee Heng 氏及び Goh Chee Seng 氏の 3 名に譲渡することを決定いたしました。

また、本株式譲渡を進めるにあたり、当社の Macro Kiosk 社に対する貸付金等については債権放棄することといたしました。

なお、これに伴い当社から派遣している取締役 4 名全員は本株式譲渡の実行と同時に辞任する予定です。

2. 異動する子会社 (Macro Kiosk 社) の概要

(1) 名称	Macro Kiosk Berhad		
(2) 所在地	マレーシア クアラルンプール		
(3) 代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer・Goh Chee Ken		
(4) 事業内容	SMS モバイルソリューション事業 キャリア課金事業		
(5) 資本金	5百万マレーシアリングgit (125百万円)		
(6) 設立年月日	2000年7月1日		
(7) 大株主及び持分比率	GMO-Z.COM PAYMENT GATEWAY PTE. LTD. (当社子会社) 70%		
(8) 当事者間の関係等	資本関係	当社は、当社子会社を通じて当該会社の70%の株式を所有しています。	
	人的関係	当社役員1名が当該会社の役員を兼任しています。	
	取引関係	当社は、当該会社との間で資金貸付等の取引を行っています。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
純資産	96,389千円	26,427千円	△211,602千円
総資産	2,664,475千円	2,912,588千円	2,668,985千円
1株当たり純資産(円)	19.27	5.28	△42.32
売上高	3,627,670千円	4,375,871千円	5,059,621千円
営業利益	13,053千円	△31,557千円	△235,702千円
親会社の所有者に帰属する当期純利益	△56,660千円	△96,701千円	△282,599千円
1株当たり当期純利益(円)	△11.33	△19.34	△56.52
1株当たり配当金(円)	—	—	—

(注) 1. 1マレーシアリングgit=25円で換算しております。

2. Macro Kiosk 社の決算はマレーシアの会計基準で作成しており、経常利益に該当する科目が存在しないため、記載しておりません。

3. 株式譲渡先の相手の概要

(1) Goh Chee Ken

① 氏名	Goh Chee Ken
② 住所	マレーシア セランゴール州
③ 上場会社と当該個人の関係	Macro Kiosk 社の役員に就任しています。

(2) Goh Chee Heng

① 氏名	Goh Chee Heng
② 住所	マレーシア セランゴール州
③ 上場会社と当該個人の関係	Macro Kiosk 社の役員に就任しています。

(3) Goh Chee Seng

① 氏名	Goh Chee Seng
② 住所	マレーシア セランゴール州
③ 上場会社と当該個人の関係	Macro Kiosk 社の役員に就任しています。

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 譲渡前の所有株式数	3,500,000 株 (議決権の数: 3,500,000 個 当社所有割合 70%)
(2) 譲渡株式数	3,500,000 株
(3) 譲渡後の所有株式数	0 株 (議決権の数: 0 個 当社所有割合: 0%)

なお、譲渡価額につきましては当事者間の守秘義務により非開示といたしますが、Macro Kiosk 社が現在債務超過であること、また同社の今後の収益力が低下していくことが予想されることを考慮し、譲渡価額の妥当性を十分に検証した上で株式譲渡先の相手と協議の結果、決定いたしました。

5. 債権放棄の内容

(1) 債権の種類	貸付金及び未収利息
(2) 放棄する債権の金額	約 10 億円

(注) 当該債権に対し、2019 年 9 月期の個別決算において貸倒引当金 624 百万円を計上しております。

6. 日程

- (1) 取締役会決議及び株式譲渡契約書締結 2020 年 4 月 30 日
- (2) 本株式譲渡、本債権放棄の実行及び当社派遣取締役の辞任 2020 年 5 月以降 (予定)

7. 今後の見通し

2020 年 9 月期の連結決算において、子会社株式売却損の計上により営業利益が約 3 億円減少し、約 10 億円の債権放棄により Macro Kiosk 社に計上される利益の一部を同社の非支配株主が享受する結果、親会社の所有者に帰属する当期利益が約 6 億円減少する見込みです。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で株式譲渡の手續に通常よりも時間がかかる可能性があり、株式譲渡実行日が未確定であるため、当該金額は本債権放棄及び本株式譲渡が 2020 年 3 月末に実行されたと仮定して計算しております。

また、Macro Kiosk 社が当社グループの連結範囲から除外されることにより、2020 年 9 月期の売上高が 2019 年 11 月 12 日に公表した業績予想に対して下振れすることが想定されます。

詳細につきましては現在精査中であり、確定後速やかにお知らせいたします。

以上